

平成28年4月7日

平成28年度病害虫防除技術情報（第1号）

和歌山県農作物病害虫防除所

タマネギベと病の発生状況について

1. 対象作物：タマネギ
2. 調査地域：県北部
3. 調査時期：4月上旬
4. 調査結果

平成28年4月上旬の県北部31ほ場におけるタマネギベと病新病斑の発生ほ場率は48.4%、発病株率は1.5%であり、平成27年4月中旬および平年と比べて発生ほ場率が高い（表1）。

5. 発生予想

本病は気温10～20℃で雨が多いと発生しやすい。大阪管区気象台の近畿地方1か月予報（4月2日から5月1日までの天候見通し）によると本病の発生に好適な気象条件が続くため、今後発病が増加すると考えられる。

表1. 県北部におけるタマネギベと病新病斑の発生状況

	平成28年 (4月上旬)	平成27年 (4月中旬)	平年 (4月上～中旬)
発生ほ場率(%)	48.4	38.9	27.3
発病株率(%)	1.5	3.4	1.5

注)調査年月日および調査場所

平成28年:4月4日、和歌山市、岩出市、紀の川市、かつらぎ町 計31ほ場

平成27年:4月20日、岩出市、紀の川市、かつらぎ町 計36ほ場

6. 防除上の注意事項

- 1) 発生を確認した場合は直ちに防除を行う。発生が確認されていないほ場についても早めに予防防除を行う。
- 2) 排水を良好にし、降雨による浸冠水や停滞水をなくす。
- 3) 発病残さは次作の発生源となるので、ほ場外に持ち出し適切に処分する。
- 4) 農薬については、(独)農林水産消費安全技術センターの農薬登録情報提供システム (http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm) で最新の登録情報を参照し、適正に使用する。

担当：農作物病害虫防除所
岡本晃久、大谷洋子
電話：0736-64-2300